

## デザイン科学科 令和6年度入学生向けのPC購入について

パソコンの購入については、学科で特に指定はありません。

入学当初から様々なアプリケーションを使いこなせるようになるのはよいことです。現在多くのことが、身近なスマートフォンやタブレット端末でも可能になってきましたが、実務レベルのクリエイティブな作業にはまだまだパソコンの使用が必須で、在学期間中にそのスキルを身につけて置くことが将来においても重要になります。そのため授業内外で、学生同士でお互いに教え合いながら作業をするなど大学に持参することも少なくありませんので、学生本人が専有利用できるノート型パソコンを推奨します。

ただし、一言にパソコンと言っても、OS（Windows または macOS など）や性能の違いがあり、目指す専門領域によって求められる機能や性能も異なります。現状として、デザイン領域に関わる業界では macOS のパソコンが多く使用されており、デザイン科学科の学生および教員もその例外ではありません。

この辺りの状況の変化は非常に激しく、それぞれが目指す領域によって各自の判断が必要です。例えば、CAD や 3DCG などを使用することが多い場合には Windows パソコンが使われていることが多いです。なお、大学の PC 演習室には Windows のパソコンが導入されております。

<4年間使用し続けるための推奨スペック>

macOS

Apple Macbook Air / MacBookPro（アカデミックで多少割引されます）

【性能】M2 チップ、メモリー16GB 以上、SSD512GB 以上

Windows

ブランド多数あり 例えば Dell、HP、Lenovo、Microsoft、MSI、ASUS、Acer などは細かく性能を予算に合わせて調整が可能で、学割制度があるものもあります。いわゆるゲーミングパソコンと言われている性能を持っていれば十分だと考えます

【性能】Intel Core i7 以上または AMD Ryzen 7 以上、メモリー16GB 以上、SSD512GB 以上、グラフィックカードは NVIDIA Geforce または AMD Radeon VRAM 4GB 以上

初年次から Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Graphisoft Archicad、Autodesk Fusion360 のアプリを使用するので、これらの動作環境を確認が推奨されている仕様が理想です。

デザイン領域でよく使われるグラフィック関係のアプリケーションは macOS でも Windows でも動作します。Windows の場合は使用アプリケーションが推奨するスペックを参考に検討されるのがよいかと思います。(量販店で販売されている安価な PC は、デザイン領域で使用するには不十分なものが含まれていることも少なくありませんので、購入時に注意が必要です。)

購入時期ですが、デザイン科学科では1年生の前期中が良いと考えています。なおリモート授業がある場合を考慮して、通信環境についての準備も考えておくとよいでしょう。

パソコンの価格は安くはありませんので、入学後に色々な先生の意見を聞いた上で購入するのがよいと思います。なお、学科ガイダンスにおいて詳しく説明しますので、その際に確認してください。